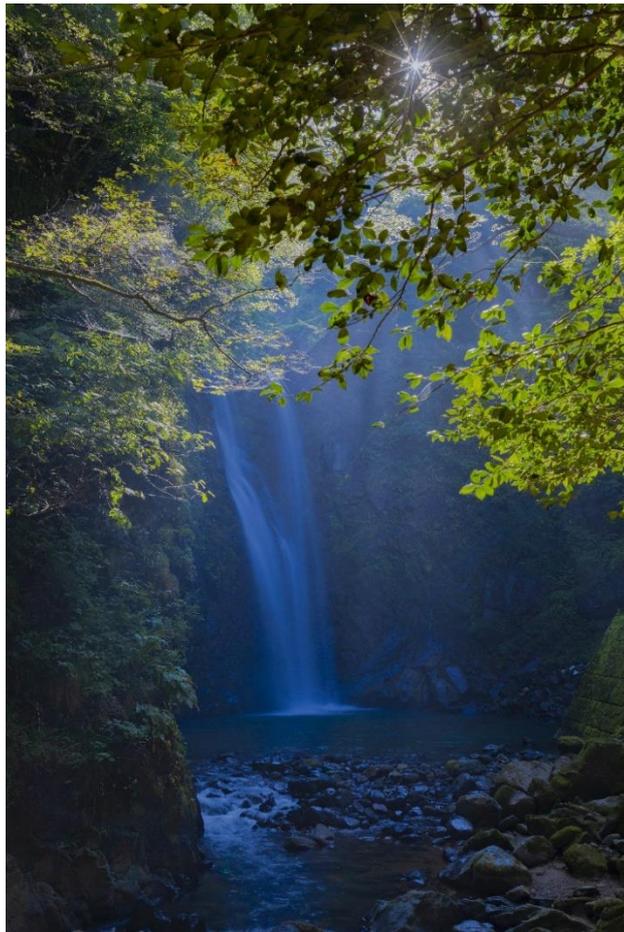


第4次福井市環境基本計画

【概要版】

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい

(令和3年度～令和7年度)



福井市では、良好な環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、平成12年度に福井市環境基本計画を策定しました。

また計画策定からの社会経済や環境の情勢の変化を踏まえて、これまで第2次、第3次の改定を行い、“未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい”をテーマにした施策を総合的・計画的に進めてきました。

近年、世界では環境分野において様々な変化が生じています。

平成27年(2015年)9月には、持続可能な開発目標(SDGs)を含む2030アジェンダが採択されました。また、同年12月にはパリ協定が採択され、日本も温室効果ガス排出量を2030年までに2013年度比で26%削減する目標を掲げました。さらに令和2年10月には、国は、2050年には国内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを宣言しました。

このたび、こうした変化や動向を踏まえ、「目指す環境像」の実現に向けた施策や指標の設定等を見直し改定を行いました。

(写真):すばらしい自然コンテスト 令和2年度 最優秀作品「飛び切りの涼を求めて」

理 念

<目指す環境像>

福井市は海や山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた環境にあります。

しかし視野を地球規模に広げると、様々な環境問題が見えてきます。これは、これまで人間が快適さや便利さを求めて環境に多くの負荷をかけてきたことの結果でもあります。

私たち一人ひとりが人間も自然の中の一部であることを知り、地球規模の問題を意識した行動をとらなければなりません。その行動が、現在の福井の環境を守り育て、次の世代に残していくことに繋がります。

また、私たちの身近にある自然環境や、これを守り伝える人・市民組織・事業者などを、地域固有の資源として再認識し活用することが、「人と人」「地域と地域」が相互に支えあう持続可能なまちづくりに繋がります。

世界の人々や子孫に誇れる福井市であり続けるため、目指す環境像をここに掲げます。

未来へつなごう

環境にやさしい持続可能なまち・ふくい

<「持続可能な開発目標（SDGs）」との関係>

SDGsは、17のゴール及び169のターゲットが相互に関係しており、複数の課題を統合的に解決することを目指すこと、1つの行動によって複数の側面における利益を生み出すマルチベネフィットを目指すこと、という特徴を持っています。

また、SDGsを掲げる2030アジェンダは、あらゆるステークホルダー（利害関係者）が参画する「全員参加型」のパートナーシップの促進を宣言しています。

本市においても、市民、市民組織、事業者など、あらゆる関係主体とのパートナーシップを促進し、「環境」という側面における個々の課題を解決することにより、あわせて「経済」「社会」といった複数のSDGsのゴールの達成に貢献（マルチベネフィット）していくことを目指します。



<基本方針>

目指す環境像を実現するため、取組の方向である基本方針を定めます。

1 豊かな自然や生き物を守り育て、 将来に伝えます



豊かな自然やそこに生息する多様な生き物を守り育て、将来に伝えていくためには、地域の自然との関わりを維持していくことが大切です。

市民をはじめ、事業者や市民組織等による環境の保全、再生活動や、自然と親しみふれあう活動を促進する取組を進めます。

2 快適な暮らしを守り、水と緑が 豊かな都市環境を創出します



現在、本市においては、身近にある大気や水など、生活環境は良好な状態で保たれていますが、これからも快適な生活が守られなければなりません。

また、自然を活かした水と豊かな都市環境を創出し、潤いのある空間づくりに取り組みます。

3 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の 影響に適応した社会づくりを進めます



温室効果ガスの排出を減らすには、一人ひとりが、まちづくりや日常生活、事業所の活動など、様々な場面でエネルギーの利用を見直すとともに、省資源化への取組が必要です。

低炭素型社会への転換に向け、市民や事業所等の省エネや省資源化への取組の支援や環境負荷の少ない交通環境の構築を進めます。

また、気候変動の影響に対する適応策についても検討し、2050年のゼロカーボン達成に向かって温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

4 ごみを減らし、資源を大切に 循環型社会づくりを進めます



3R（ごみの発生抑制【リデュース】、再使用【リユース】、再生利用【リサイクル】）に取り組み、資源を大切に循環させる取組を進めます。

5 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、 共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます



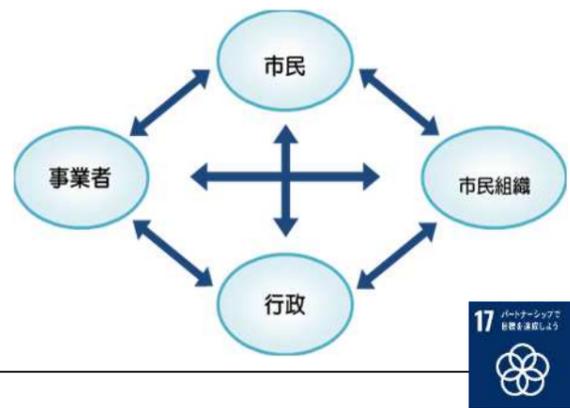
一人ひとりが、身近な環境活動が「持続可能な社会づくり」につながっているという広い視点を持って環境問題を学習し、自ら考え、行動できる人材を育成することが必要です。

あらゆる関係主体が互いに協力しあうパートナーシップにより、環境・経済・社会の総合的向上に貢献し、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます。

同時貢献する
主なゴール
(マルチベネフィット)

目指す環境像 “未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい”

目指す環境像を実現していく主役は、「誰か」ではなく「みんな」です。社会を形作っている様々な主体（市民・市民組織・事業者・行政）が、お互いに手をたずさえながら、パートナーシップにより実現していきます。



○ 目指す環境像

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい

○ 基本方針

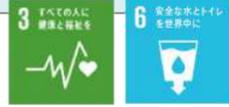
自然環境

1 豊かな自然や生き物を守り育て、将来に伝えます



生活環境・都市環境

2 快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出します



地球温暖化対策 ・エネルギー

3 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の影響に適応した社会づくりを進めます



廃棄物・資源循環

4 ごみを減らし、資源を大切に作る循環型社会づくりを進めます



環境教育・環境学習

5 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます



○ 施策

- 1. 自然環境の保全と再生
- 2. 協働による里地・里山の利活用

- 1. 生活環境の保全
- 2. 都市の水と緑の保全と創出

- 1. 家庭や事業所などにおける省エネルギーの推進
- 2. 移動における環境負荷の低減

- 1. ごみの発生抑制と資源循環の推進

- 1. 環境教育の推進
- 2. 多様な主体による環境学習の推進

○ 環境指標

施策	項目	単位	現状 (R元年度)	目標 (R7年度)
1	福井市の優れた自然の調査実施数	箇所	8	10
1	間伐面積 (除伐面積含む)	ha	1,624	2,000
2	足羽山どんぐりプロジェクト育苗協力学校数	校	-	50 (市立小)
2	環境ボランティア制度登録者数	人	193	430

施策	項目	単位	現状 (R元年度)	目標 (R7年度)
1	大気、水質 (河川・海域) における環境基準 () 達成率	%	100	100 (現状を維持する)
1	大気、水質等におけるダイオキシン類の環境基準達成率	%	100	100 (現状を維持する)
1	有害大気汚染物質の環境基準達成率	%	100	100 (現状を維持する)
1	汚水処理人口普及率 (公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽)	%	96.4	100
2	都市公園面積	ha	380.26	385.91
2	都市環境美化活動団体数 (河川・公園)	団体	74	92

大気は二酸化窒素、河川はBOD、海域はCODで評価する。

施策	項目	単位	現状 (R元年度)	目標 (R7年度)
1	温室効果ガス排出量 (千 t-CO2/年)	-	2,171	1,954 以下
1	年間エネルギー消費量 (百万 MJ/年)	-	31,444	28,928 以下
1	クールチョイス賛同者数	人	8,740	18,000
2	公共交通機関の乗車人数 (万人/年)	-	895	902

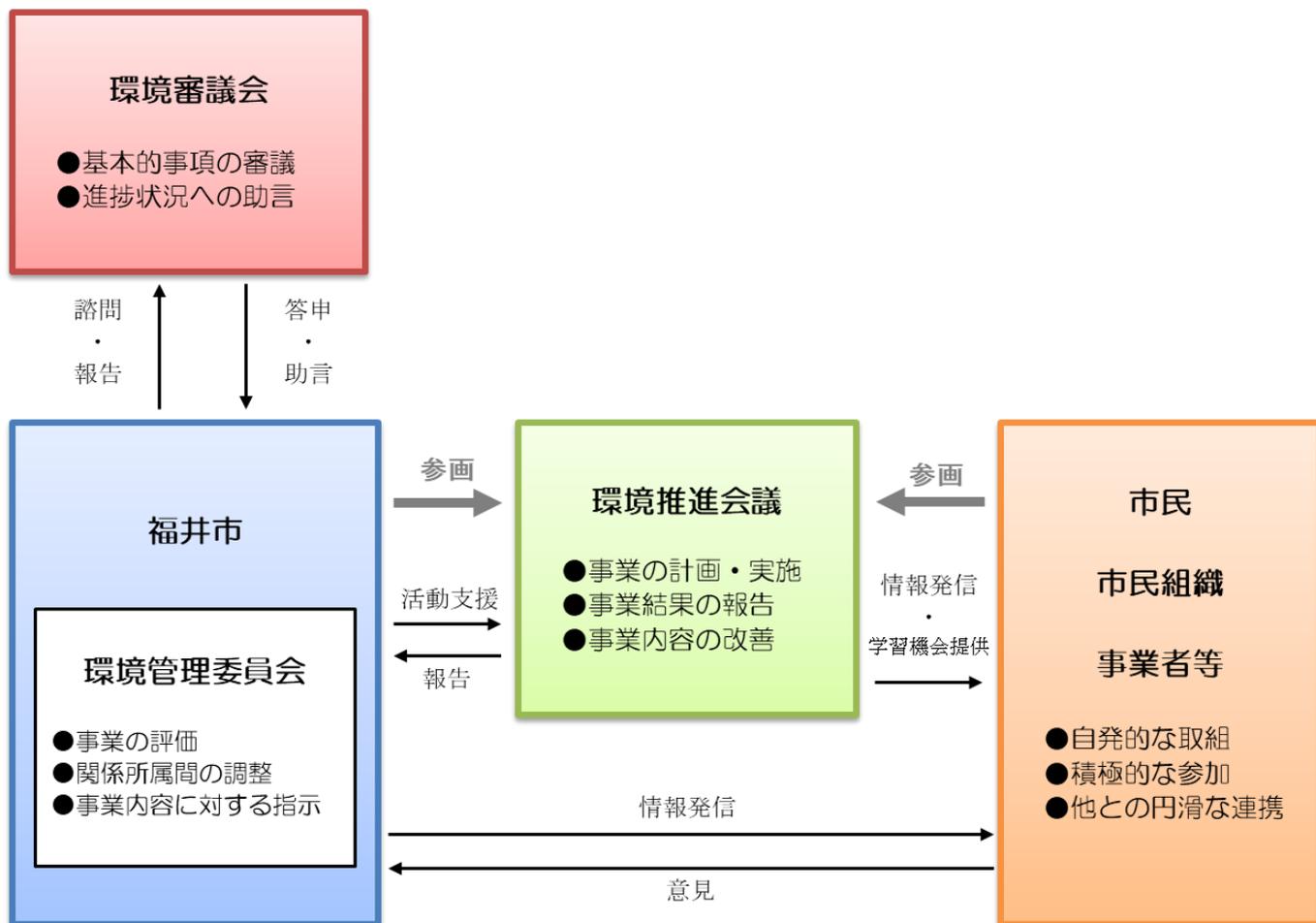
施策	項目	単位	現状 (R元年度)	目標 (R7年度)
1	市民1人1日あたりのごみ排出量	グラム	892	850 () 以下 (R5年度)
1	燃やせるごみへの資源物混入率	%	22.4	21 () 以下 (R5年度)
1	ふくいマル優エコ事業所登録数	社	45	70

福井市資源物及び廃棄物 (ごみ) 処理基本計画 (平成31年3月改定) と同数値

施策	項目	単位	現状 (R元年度)	目標 (R7年度)
1	福井市環境学習プログラム取組校	校/年	69 (市立幼小中)	69 (市立幼小中)
2	環境学習会参加者数	人	7,196	10,000
2	市民・事業者・行政等が協働した取組数	回/年	3	15



計画の推進体制



■福井市環境審議会

「福井市環境審議会」は、環境基本条例に規定する機関で、学識経験者、各種団体の代表者、市民等 15 人以内で構成されます。市長の諮問に応じ、環境関係法令の基本的な事項のほか、環境基本計画の改定や推進状況などに関する事項について、総合的な視点から調査審議し、意見を述べます。

■福井市環境推進会議

福井市の豊かな自然を守り育て、次の世代に引き継ぐとともに、地球規模の環境問題にも対応するなど、これまでの保全にとどまらずより良い環境を創り出すために、市内の事業者・団体、学識経験者等で構成する「福井市環境推進会議」を設置しています。

会議では、市民・市民組織・事業者・教育機関・行政がお互いの特性を活かしながら、協働の理念のもと、自然環境保護活動の推進、地球温暖化防止に向けた再生可能エネルギーの普及や省エネの取組、環境のことを自ら考え行動する人づくり、環境学習の機会の充実など、新たな取組を検討し実践するとともに、市民に対する旗振り役を担います。

さらに、環境に関する新たな技術や取組の情報収集や提供、産学官連携による地域の環境活動の育成や支援を行うとともに、発展的な環境活動へとつながるネットワークの構築を図っていきます。



福井市環境推進会議
シンボルマーク&スローガン

【お問い合わせ先】

福井市 市民生活部 環境政策課

〒910-8511 福井市大手 3 丁目 10-1 TEL : 0776(20)5609 FAX : 0776(20)5754

E-mail kansei@city.fukui.lg.jp

【環境に関する情報はここから】

URL <http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d210/kankyo/index.html>